

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 03 障がい者（児）福祉の推進
基本事業 03 福祉施設サービスの充実
主管課： 社会福祉課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 障がい者（児），療育が必要な児童	意図（どのような状態にしたいのか） 障がい者（児）が，通所施設や入所施設で，状態に応じた専門的な指導・訓練を受けながら生活できるようにする。
--------------------------------------	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

施設通所者数 (人) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
401.00	484.00	560.00	630.00	700.00	783.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して，76人増加しています。 (原因) 施設通所者は年々増加傾向にあります。一般就労に至らない障がい者が就労目的の訓練施設を利用することが多くなっていること，訓練ができる障がい者サービス事業所が充足されていること，障がい者サービスが広く認知されていることによるものと思われます。			
対前年度	向上				
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

施設入所者数 (人) 社会福祉課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
41.00	47.00	46.00	46.00	45.00	37.00
向上指針	下がると良い	(状況) 前年度と比較して，1人減少しています。 (原因) 障がい者が地域で生活することを国は進めていますが，施設入所者の多数は重度障がい者のため，在宅での生活やグループホームへの移行は難しい状況にあると考えられます。この指標は，数値の変化は少ないものと考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度 決 算	H29年度 決 算	H30年度 決 算	R01年度 予 算	R02年度 見 込
事業費合計	803,229	889,147	936,288	1,054,476	1,054,476
人件費	857	5,572	9,356	0	0
トータルコスト	804,086	894,719	945,644	1,054,476	1,054,476

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

施設通所者は増加傾向にあり、順調に推移しています。施設入所者は、重度の障がい者であるため、在宅生活へ移行できる障がい者は限られてくると考えられます。なるべく地域で生活するよう、民間のグループホーム等の整備計画を検討することが必要になってくると考えられます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]